

**A 会場**

(講義棟1階、講義室(1))

[複製・組換え①]

**B 会場**

(講義棟2階、講義室(3))

[分化・発生]

**C 会場**

(講義棟2階、講義室(5))

[遺伝子発現(シグナル伝達)①]

9:00	<p><b>1A-01</b> 温度感受性変異体を用いた ColE2 プラスミド複製開始タンパク質の機能ドメイン解析</p> <p>○根岸 武彦<sup>1)</sup>、伊藤 建夫<sup>2)</sup></p> <p>1) 信州大学大学院 工学系研究科 2) 信州大学 理学部 生物科学科</p>	<p><b>1B-01</b> マウス聴覚維持に必須の内耳メラノサイトと酸化ストレス防御機構の関連性の解析</p> <p>○上原 重之<sup>1)</sup>、和泉 喜子<sup>1)</sup>、峯田 克彦<sup>2)</sup>、池尾 一穂<sup>3)</sup>、五條堀 孝<sup>3)</sup>、城石 俊彦<sup>4)</sup>、山本 博章<sup>1)</sup></p> <p>1) 東北大学大学院 生命科学研究科 生命機能科学専攻 2) 北海道大学大学院 情報科学研究科 生命人間情報科学専攻 3) 遺伝学研究所 生命情報・DDBJ 研究センター 遺伝情報分析研究室 4) 遺伝学研究所 系統生物研究センター 哺乳動物遺伝研究室</p>	<p><b>1C-01</b> 大腸菌外膜リポタンパク質 RcsF の proline-rich region の Rcs シグナル伝達系制御における役割</p> <p>○梅川 満、宮川 宏義、柴 康弘、松岡 聡、原 弘志、松本 幸次</p> <p>埼玉大学大学院 理工学研究科 生命科学系専攻 分子生物学コース</p>
9:15	<p><b>1A-02</b> 接合伝達性プラスミド R64 の伝達開始タンパク NikB による開始点認識の様式</p> <p>○古屋 伸久、駒野 照弥</p> <p>首都大学東京 理工学系 生命科学専攻</p>	<p><b>1B-02</b> 眼球の微細構造や視覚機能に関するメラノサイトの機能の遺伝学的解析</p> <p>○岩淵 由希<sup>1)</sup>、矢野 由希子<sup>1)</sup>、武田 悠<sup>1)</sup>、砂金 ひとみ<sup>2)</sup>、菅野 江里子<sup>2)</sup>、富田 浩史<sup>2)</sup>、前野 哲輝<sup>3)</sup>、田中 成和<sup>3)</sup>、田村 勝<sup>3)</sup>、城石 俊彦<sup>3)</sup>、青木 仁美<sup>4)</sup>、國貞 隆弘<sup>4)</sup>、山本 博章<sup>1)</sup></p> <p>1) 東北大学大学院 生命科学研究科 生命機能科学専攻、2) 東北大学 国際高等教育機構 国際高等融合領域研究所、3) 国立遺伝学研究所 系統生物研究センター 哺乳動物遺伝研究室、4) 岐阜大学大学院 医学研究科 再生医科学独立専攻</p>	<p><b>1C-02</b> 大腸菌外膜リポタンパク質 RcsF の C 末端領域が Rcs リン酸リレーシグナル伝達系活性化に機能する</p> <p>○近藤 大哲、宮川 宏義、松岡 聡、原 弘志、松本 幸次</p> <p>埼玉大学大学院 理工学研究科 生命科学系専攻</p>
9:30	<p><b>1A-03</b> 大腸菌の複製開始複合体形成における DiaA-DnaA 相互作用メカニズムの解析</p> <p>○毛谷村 賢司、東 雅裕、片山 勉</p> <p>九州大学大学院 薬学研究院 分子生物薬学分野</p>	<p><b>1B-03</b> 加齢依存的に毛色変化を起こす変異体マウスの解析</p> <p>○片平 絵美子<sup>1)</sup>、渡邊 紘介<sup>2)</sup>、佐藤 康成<sup>1)</sup>、石田 龍太郎<sup>1)</sup>、田中 成和<sup>3)</sup>、田村 勝<sup>3)</sup>、榊屋 啓志<sup>4)</sup>、若菜 茂晴<sup>5)</sup>、城石 俊彦<sup>3)</sup>、山本 博章<sup>1)</sup></p> <p>1) 東北大学大学院 生命科学研究科 生命機能科学専攻 2) 東北大学 理学部 生物学科 3) 国立遺伝学研究所 哺乳動物遺伝学研究室 4) 理化学研究所 バイオリソースセンター マウス表現型知識化研究開発ユニット 5) 理化学研究所 バイオリソースセンター マウス表現型解開発チーム</p>	<p><b>1C-03</b> 大腸菌 Rcs リン酸リレー系の活性化に働く外膜リポタンパク質 RcsF の内膜コンポーネントとの相互作用の解析</p> <p>○奥津 裕文、近藤 大哲、松本 健二、宮川 広義、柴 康弘、松岡 聡、原 弘志、松本 幸次</p> <p>埼玉大学 理工学研究科 生命科学系専攻</p>
9:45	<p><b>1A-04</b> 細菌の DNA 複製フォークの制限酵素による切断</p> <p>○石川 健<sup>1)</sup>、半田 直史<sup>1)</sup>、小林 一三<sup>1,2)</sup></p> <p>1) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカルゲノム専攻 2) 東京大学医科学研究所</p>	<p><b>1B-04</b> マウスのメス生殖細胞における <i>Xist</i> 発現消失時期の遅延は X 染色体再活性化を遅らせる</p> <p>○尼川 裕子<sup>1,2)</sup>、保木 裕子<sup>1)</sup>、佐々木 裕之<sup>1,2)</sup>、佐渡 敬<sup>3)</sup></p> <p>1) 国立遺伝学研究所 人類遺伝研究部門 2) 総合研究大学院大学 生命科学研究科 3) 九州大学 生体防御医学研究所</p>	<p><b>1C-04</b> 大腸菌 YhdL タンパク質を介した新規リボソームリサイクルシステム</p> <p>○茶谷 悠平、小野 勝彦、阿保 達彦</p> <p>岡山大学大学院 自然科学研究科</p>

## D 会場

(講義棟3階、講義室(8))

[変異修復]

- 9:00 **1D-01** 大腸菌のヌクレオチド除去修復による CPD 除去修復と突然変異率の上昇
- 田子 友一期<sup>1)</sup>、鈴木 志織<sup>1)</sup>、井原 誠<sup>2)</sup>、山本 和生<sup>1)</sup>
- 1) 東北大学大学院 生命科学研究所  
2) 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 原爆後障害医療研究施設

- 9:15 **1D-02** 大腸菌 DNA ポリメラーゼ I の配列置換変異抑制機能
- 真木 寿治、中島 崇皓、大橋 慧也、愿山 郁、村尾 雅司、秋山 昌広
- 奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科

- 9:30 **1D-03** 大腸菌 *dinB* の過剰発現による染色体の分割
- 池田 美央、森 哲也、内田 香里、古郡 麻子、真木 寿治、秋山 昌広
- 奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科

- 9:45 **1D-04** 損傷乗り越え DNA 合成におけるポリメラーゼ交換反応の生化学的解析
- 増田 雄司、神谷 研二
- 広島大学 原爆放射線医科学研究所 分子発がん制御研究分野

## E 会場

(講義棟3階、講義室(10))

[バイオリソース/行動・感覚・神経]

- 1E-01** 線虫 *C. elegans* の記憶形成過程における分子神経基盤の解明
- 西田 征央、杉 拓磨、森 郁恵
- 名古屋大学大学院 理学研究科 生命理学専攻

- 1E-02** 線虫 *C. elegans* のイネキシン *inx-4* 変異体の温度走性行動解析
- 延命 大士<sup>1)</sup>、西尾 奈々<sup>1)</sup>、笹倉 寛之<sup>1)</sup>、赤坂 茉莉<sup>2)</sup>、久原 篤<sup>1)</sup>、森 郁恵<sup>1)</sup>
- 1) 名古屋大学大学院 理学研究科生命理学専攻分子神経生物学グループ  
2) 名古屋大学大学院 理学研究科生命理学専攻発生化学グループ

- 1E-03** *C. elegans* 温度受容ニューロンにおいて広いレンジの温度受容を制御する Gタンパク共役型受容体 (GPCR) の解析
- 笹倉 寛之、鈴木 啓太、伊藤 浩子、森 郁恵
- 名古屋大学大学院 理学研究科 生命理学専攻分子神経生物学

- 1E-04** 粘度上昇に伴い遊泳能力を向上させるサルモネラ菌変異体の運動解析から考察されるモーター機構
- 中江 俊喜<sup>1)</sup>、坂田 博昭<sup>1)</sup>、岡野 裕之<sup>1)</sup>、宮崎 慎也<sup>1)</sup>、工藤 成史<sup>2)</sup>、林 史夫<sup>1)</sup>、大澤 研二<sup>1)</sup>
- 1) 群馬大学大学院 工学研究科 応用化学・生物化学工学専攻  
2) 桐蔭横浜大学 工学部 ロボット工学科

**A会場**

(講義棟1階、講義室(1))

[複製・組換え①]

**B会場**

(講義棟2階、講義室(3))

[分化・発生]

**C会場**

(講義棟2階、講義室(5))

[遺伝子発現(シグナル伝達)①]

10:00	<p><b>1A-05</b> 枯草菌ファージφ29の遺伝子1産物(gp1)の機能解析: φ29SSB欠損変異体は致死性ではなく、gp1欠損変異体様の温度感受性を示す</p> <p>○刀禰 高広、竹内 有、牧野 修</p> <p>上智大学大学院 理工学研究科 生物科学専攻 遺伝学部門</p>	<p><b>1B-05</b> X染色体不活性化機構の部分的機能欠損変異</p> <p>保木 裕子<sup>1)</sup>、大畑 樹也<sup>1)</sup>、佐々木 裕之<sup>1,2)</sup>、○佐渡 敬<sup>3)</sup></p> <p>1) 国立遺伝学研究所 人類遺伝研究部門 2) 総合研究大学院大学 遺伝学専攻 3) 九州大学 生体防御医学研究所 ゲノム機能制御学部門</p>	<p><b>1C-05</b> 病原性大腸菌 O157:H7における新規リン酸レギュロン遺伝子 ECs0540の解析</p> <p>○吉田 祐輔<sup>1)</sup>、杉山 信一郎<sup>1)</sup>、横山 勝志<sup>2)</sup>、牧野 耕三<sup>1)</sup></p> <p>1) 防衛大学校 応用化学科 生物化学講座 2) 産業技術総合研究所 脳神経情報研究部門</p>
10:15	<p><b>1A-06</b> 枯草菌ファージφ29RNA結合蛋白質gp1の機能解析: gp1の欠損はRNaseHの過剰生産によって補償できる</p> <p>○竹内 有、刀禰 高広、牧野 修</p> <p>上智大学大学院 理工学研究科 生物科学専攻 遺伝学部門</p>	<p><b>1B-06</b> 雌マウスPGC発生過程におけるX染色体の活性変化とDNAメチレーションパターンの解析</p> <p>○杉本 道彦<sup>1)</sup>、佐渡 敬<sup>2)</sup>、阿部 訓也<sup>1)</sup></p> <p>1) 理化学研究所 バイオリソースセンター 動物変異動態解析技術開発チーム 2) 九州大学 生体防御医学研究所</p>	<p><b>1C-06</b> 病原性大腸菌 O157:H7ゲノム上に存在するPhoP/PhoQ依存性プロモーターの単離と同定</p> <p>○杉山 信一郎<sup>1)</sup>、吉田 祐輔<sup>1)</sup>、横山 勝志<sup>2)</sup>、牧野 耕三<sup>1)</sup></p> <p>1) 防衛大学校 応用化学科 生物化学講座 2) 産業技術総合研究所 脳神経情報研究部門</p>
10:30	<p><b>1A-07</b> 出芽酵母染色体DNA複製におけるMCM10の機能解析</p> <p>○矢倉 勝<sup>1)</sup>、荒木 弘之<sup>1,2)</sup></p> <p>1) 遺伝研 微生物遺伝 2) 総研大</p>	<p><b>1B-07</b> メラノーマ自然発症モデルマウスを用いた癌抑制遺伝子のスクリーニングと機能解析</p> <p>○後藤 友二、加藤 昌志</p> <p>中部大学 生命健康科学部 生命医科学科</p>	<p><b>1C-07</b> サルモネラの鞭毛特異的シグマ因子オペロンの自己活性化抑制機構</p> <p>○田邊 康志、小野 勝彦、和田 健男、沓掛 和弘</p> <p>岡山大学大学院 自然科学研究科</p>
10:45	<p><b>1A-08</b> 染色体DNAの複製開始期に形成されるタンパク質複合体の解析</p> <p>○平井 和之<sup>1)</sup>、村松 佐知子<sup>1)</sup>、荒木 弘之<sup>1,2)</sup></p> <p>1) 国立遺伝学研究所 微生物遺伝研究部門 2) 総合研究大学院大学 遺伝学専攻</p>	<p><b>1B-08</b> ショウジョウバエの転写因子Blimp-1は、蛹化タイミングを測定するhourglass timerとして働く</p> <p>○赤木 一考<sup>1)</sup>、サラハン モスタファ<sup>1)</sup>、上田 均<sup>1,2)</sup></p> <p>1) 岡山大学大学院 自然科学研究科 バイオサイエンス専攻 2) 岡山大学 理学部 生物学科</p>	<p><b>1C-08</b> サルモネラ鞭毛レギュロンの培地依存的発現調節はマスターレギュレーターFlhD<sub>4</sub>C<sub>2</sub>に対するアンチアクティベーター蛋白質YdiVの発現制御に依存している</p> <p>○和田 健男、沓掛 和弘</p> <p>岡山大学大学院 自然科学研究科</p>

## D 会場

(講義棟3階、講義室(8))

[変異修復]

### 10:00 1D-05 酸化損傷塩基の修復能を欠損するマウスにおける継世代的影響の解析

○大野 みずき<sup>1,2)</sup>、作見 邦彦<sup>1)</sup>、古市 正人<sup>3)</sup>、續 輝久<sup>2)</sup>、中別府 雄作<sup>1)</sup>

- 1)九州大学 生体防御医学研究所 脳機能制御学分野
- 2)九州大学大学院医学研究院 基礎放射線医学分野
- 3)九州大学 RI センター

## E 会場

(講義棟3階、講義室(10))

[バイオリソース/行動・感覚・神経]

### 1E-05 細菌べん毛繊維の形状変化を原子レベルで解明する

○都丸 英敏、林 史夫、池田 佳奈美、古川 英嗣、大澤 研二

群馬大学大学院 工学研究科応用化学・生物化学専攻

### 10:15 1D-06 酸化ストレス誘発消化管発癌抑制における癌関連遺伝子の働き

○中津 可道、松本 載恭、朴 晶淑、續 輝久

九州大学 医学研究院 基礎放射線医学分野

### 1E-06 マウス *Ednrb* 突然変異体 JF1 の聴力個体差は蝸牛血管条のメラノサイト生存分布と一致する

○宮坂 勇輝<sup>1)</sup>、奥村 和弘<sup>1)</sup>、上原 重之<sup>2)</sup>、山本 博章<sup>2)</sup>、小出 剛<sup>3)</sup>、城石 俊彦<sup>4)</sup>、米川 博通<sup>5)</sup>、吉川 欣亮<sup>1)</sup>

- 1)東京農業大学 生物産業学部 生物生産学科
- 2)東北大学大学院 生命科学研究科
- 3)国立遺伝学研究所 マウス開発研究室
- 4)国立遺伝学研究所 哺乳動物遺伝学研究室
- 5)東京都臨床医学総合研究所 疾患モデル開発センター

### 10:30 1D-07 線虫における酸化ヌクレオチド分解酵素の同定と機能の解析

○真田 悠生<sup>1)</sup>、米倉 慎一郎<sup>1)</sup>、菊地 政弘<sup>1)</sup>、秋山(張) 秋梅<sup>1)</sup>

京都大学大学院 理学研究科 生物科学専攻

### 1E-07 RIKEN ENU-based gene-driven mutagenesis system (RGDMS) を用いた $\beta$ カテニン 遺伝子点突然変異マウスの解析 : I. ホモ接合体に見られる遺伝的異常

○村田 卓也、牧野 茂、福村 龍太郎、中井 祐治、石塚 祐一、小瀧 逸人、権藤 洋一

理化学研究所 バイオリソースセンター 新規変異マウス研究開発チーム

### 10:45 1D-08 シロイヌナズナの損傷乗り越え複製欠損は突然変異誘発に影響する

○中川 繭<sup>1)</sup>、坂本 綾子<sup>2)</sup>、高橋 真哉<sup>3)</sup>、田中 淳<sup>2)</sup>、鳴海 一成<sup>2)</sup>

- 1)理化学研究所 生物照射チーム
- 2)日本原子力研究開発機構 量子ビーム遺伝子資源研究グループ
- 3)東京理科大 理工学部 応用生物科学科

### 1E-08 次世代シーケンサーゲットングに基づくヘッジホグシグナル伝達系のマウス発生遺伝学 : I. *Sufu* 変異系統の樹立

○牧野 茂<sup>1)</sup>、村田 卓也<sup>1)</sup>、福村 龍太郎<sup>1)</sup>、小瀧 逸人<sup>1)</sup>、Chi-chung Hui<sup>2)</sup>、権藤 洋一<sup>1)</sup>

- 1)理化学研究所 バイオリソースセンター
- 2)The Hospital for Sick Children, University of Toronto

**A会場**

(講義棟1階、講義室(1))

[複製・組換え①]

**B会場**

(講義棟2階、講義室(3))

[分化・発生]

**C会場**

(講義棟2階、講義室(5))

[遺伝子発現(シグナル伝達)①]

11:00 **1A-09** ユビキチンリガーゼ SCF<sup>Cdc4</sup>によるS期開始制御機構  
○岸 努  
東京工業大学 生命理工

**1B-09** PHDフィンガーをコードする *Ehd3* は開花抑制遺伝子 *Ghd7/Lhd4* を負に制御することによってイネの開花を促す  
○松原 一樹<sup>1)</sup>、山内 歌子<sup>1)</sup>、野々上 慈徳<sup>2)</sup>、王 子軒<sup>3)</sup>、美濃部 侑三<sup>3)</sup>、矢野 昌裕<sup>1)</sup>  
1) (独) 農業生物資源研究所 QTLゲノム育種研究センター  
2) 社団法人 農林水産先端技術産業振興センター  
3) 植物ゲノムセンター

**1C-09** 出芽酵母では、Gtr1-Gtr2複合体形成にロイシンジッパーモチーフが必須である。  
○関口 猛<sup>1)</sup>、小林 英紀<sup>2)</sup>、王 永剛<sup>3)</sup>  
1) 九州大学 医学研究院 細胞工学  
2) 岡山大学教育開発センター  
3) 米国 NIH

11:15

**1C-10** 細胞内活性酸素のアカパンカビ概日性リズム安定性への関与  
○吉田 雄介、蓮沼 仰嗣  
横浜市立大学 木原生物学研究所

11:30

**1C-11** シロイヌナズナのサイレンシング因子 Morpheus' Molecule 1 (MOM1) による内在性領域不活性化機構の解析  
○土生 芳樹<sup>1)</sup>、沼 寿隆<sup>2)</sup>、金 鍾明<sup>3)</sup>、栗原 志夫<sup>3)</sup>、松井 章裕<sup>3)</sup>、篠崎 一雄<sup>3)</sup>、関 原明<sup>3)</sup>、吉川 学<sup>1,4)</sup>  
1) 農業生物資源研究所 植物科学研究領域  
2) 農業生物資源研究所 基盤研究領域  
3) 理化学研究所 植物科学研究センター  
4) 科学技術振興機構・さきかけ

11:45

**1C-12** シロイヌナズナ葉緑体ゲノム由来の核DNA (nupDNA) のプロモーター獲得について  
○山本 義治<sup>1)</sup>、松尾 充啓<sup>2)</sup>、小保方 潤一<sup>3,4)</sup>  
1) 岐阜大学 応用生物科学部  
2) イエナ大 総合植物研  
3) 京都府大 生命環境  
4) 名大 遺伝子

## D 会場

(講義棟3階、講義室(8))

[変異修復]

## E 会場

(講義棟3階、講義室(10))

[バイオリソース/行動・感覚・神経]

11:00 **1D-09** 鉄イオンビーム照射により誘導されたシロイヌナズナ DNA 突然変異

○西原 潔<sup>1,2)</sup>、風間 裕介<sup>1)</sup>、平野 智也<sup>1)</sup>、  
大部 澄江<sup>1)</sup>、松山 知樹<sup>3)</sup>、河野 重行<sup>2)</sup>、  
阿部 知子<sup>1)</sup>

- 1) 理化学研究所 仁科加速器研究センター
- 2) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 先端生命科学専攻
- 3) 理化学研究所 基幹研究所

**1E-09** 標的細胞ノックアウト法 (TRECK 法) を利用した病態モデルの作製: 腎臓近位尿管直部特異的傷害モデルマウスを例にして

○米川 博通<sup>1)</sup>、関根 美知子<sup>1)</sup>、  
多屋 長治<sup>1)</sup>、松岡 邦枝<sup>1)</sup>、秋田 朗子<sup>1)</sup>、  
高浜 純代<sup>1)</sup>、門川 俊明<sup>2)</sup>、吉川 欣亮<sup>3)</sup>、  
鈴木 明身<sup>4)</sup>

- 1) 東京都臨床医学総合研究所 疾患モデル開発センター
- 2) 慶応義塾大学医学部内科学教室
- 3) 東京農業大学 生物産業学部 動物資源管理学研究室
- 4) 東海大学 糖鎖科学研究所

11:15 **1D-10** イオンビーム照射による DNA 損傷の修復様式の解析

○馬 立秋<sup>1)</sup>、田中 秀逸<sup>1)</sup>、井上 弘一<sup>1)</sup>、  
風間 裕介<sup>2)</sup>、市田 裕之<sup>2)</sup>、阿部 知子<sup>2)</sup>、  
畠山 晋<sup>1)</sup>

- 1) 埼玉大学 理学部 生体制御学科 遺伝学研究室
- 2) 理化学研究所

11:30 **1D-11** アルキル化損傷誘導アポトーシス経路で機能する MAPO1 タンパク質複合体

○日高 真純<sup>1)</sup>、高木 康光<sup>1)</sup>、真田 正幸<sup>1)</sup>、  
LIM TEIK-HOW<sup>2)</sup>、中津 可道<sup>2)</sup>、  
續 輝久<sup>2)</sup>、関口 睦夫<sup>1)</sup>

- 1) 福岡歯科大学 細胞分子生物学
- 2) 九州大学 院医 基礎放射線医学

11:45

**A 会場**

(講義棟1階、講義室(1))

[複製・組換え②]

**B 会場**

(講義棟2階、講義室(3))

[分子進化・分子系統①]

**C 会場**

(講義棟2階、講義室(5))

[遺伝子発現(シグナル伝達)①]

9:00 **2A-01** 誘導可能な新規遺伝子増幅系の開発

○渡邊 孝明、堀内 嵩

基礎生物学研究所 ゲノム動態研究部門

**2B-01** 硬骨魚におけるオプシン遺伝子の重複とその適応的役割

○五條堀 淳、印南 秀樹

総合研究大学院大学 葉山高等研究センター

**2C-01** *Bacillus* 属細菌における ECF  $\sigma$  因子の比較解析

○矢野 晃一<sup>1)</sup>、森 広員<sup>2)</sup>、朝井 計<sup>1)</sup>

1) 埼玉大学大学院 理工学研究科  
2) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科

9:15 **2A-02** 2ミクロンプラスミドを用いたダブルローリングサークル型遺伝子増幅依存的な逆位反応の検出

○岡本 治子<sup>1)</sup>、渡邊 孝明<sup>1,2)</sup>、堀内 嵩<sup>1,2)</sup>

1) 基礎生物学研究所 ゲノム動態研究部門  
2) 総合研究大学院大学 生命科学研究所 基礎生物学専攻

**2B-02** 嗅覚シグナル伝達経路に関与するフォスフォジエステラーゼ1C 遺伝子の多重化がもたらす効果についてのパスウェイシミュレーションを用いた検討

○佐藤 行人<sup>1)</sup>、橋口 康之<sup>2)</sup>、西田 睦<sup>3)</sup>

1) 国立遺伝学研究所 集団遺伝研究部門  
2) 大阪医科大学 総合教育講座 生物学教室  
3) 東京大学海洋研究所 分子海洋科学分野

**2C-02** 枯草菌の ECF  $\sigma$  因子を介した環境ストレス応答機構の解析

○井上 広海、朝井 計

埼玉大学大学院 理工学研究科

9:30 **2A-03** リボソーム RNA 遺伝子クラスターの安定性とクロマチン構造

○井手 聖<sup>1)</sup>、坂 季美子<sup>1)</sup>、宮崎 隆明<sup>1,2)</sup>、小林 武彦<sup>1,2)</sup>

1) 国立遺伝学研究所 細胞遺伝研究部門  
2) 総合研究大学院大学 遺伝学専攻

**2B-03** 有胎盤哺乳類の非震え熱産生にかかわる脱共役タンパク質1 遺伝子の進化: 無尾両生類と哺乳類の比較解析

齋藤 くれあ<sup>1)</sup>、○齋藤 茂<sup>2)</sup>

1) 岩手大学 21世紀 COE プログラム  
2) 岡崎総合バイオサイエンスセンター 生命環境研究領域 細胞生理研究部門

**2C-03** 枯草菌  $\sigma^M$  活性制御因子の探索と作用機構の解明

○鈴木 大資、井上 広海、朝井 計

埼玉大学大学院 理工学研究科

9:45 **2A-04** 出芽酵母のリボソーム RNA 遺伝子は非対称に増幅する

○宮崎 隆明<sup>1,2)</sup>、井手 聖<sup>1)</sup>、小林 武彦<sup>1,2)</sup>

1) 国立遺伝学研究所 細胞遺伝研究部門  
2) 総合研究大学院大学 生命科学研究所 遺伝学専攻

**2B-04** 地理的に隔離されたメダカ自然集団のシトクロム *b* 遺伝子の分子進化

○濱田 大樹<sup>1)</sup>、魚谷 智子<sup>4)</sup>、平井 旭<sup>2)</sup>、竹内 哲郎<sup>3)</sup>、浅田 伸彦<sup>4)</sup>

1) 岡山理科大学大学院 理学研究科 総合理学専攻  
2) 岡山県美咲町  
3) 就実女子大学人文学部  
4) 岡山理科大学理学部動物学科

**2C-04** 枯草菌における Rhamnogalacturonan 分解に関わる遺伝子群の転写解析

○伊藤 亮、福井 玲子、伊藤 寛人、志村 太輔、朝井 計

埼玉大学大学院 理工学研究科 生命科学系専攻

## D 会場

(講義棟3階、講義室(8))

[集団・進化①]

## E 会場

(講義棟3階、講義室(10))

[細胞構造機能 / 染色体の構造 / 減数分裂]

9:00 **2D-01** 脊椎動物進化とドメインシャッフリング

○和田 洋<sup>1)</sup>、川島 武史<sup>2)</sup>

- 1) 筑波大学大学院 生命環境科学研究科
- 2) 沖縄科学技術研究基盤整備機構

**2E-01** 新規ミトコンドリアタンパク質 M19 はヌクレオイド構成因子の一つである

○炭谷 めぐみ、笠嶋 克巳、遠藤 仁司

自治医科大学 生化学講座

9:15 **2D-02** 哺乳類の起源とカゼインの進化を探る新たなゲノム解析法の開発

○川崎 和彦

ペンシルバニア州立大学 人類学科

**2E-02** *FtsH* 遺伝子のノックダウンによる斑入りタバコ系統の作出

○高祖 崇好、加藤 裕介、坂本 亘

岡山大学 資源生物科学研究所

9:30 **2D-03** ヒト集団におけるマイクロサテライト DNA のゲノム浮動

○竹崎 直子<sup>1)</sup>、根井 正利<sup>2)</sup>

- 1) 香川大学 総合生命科学センター
- 2) ペンシルバニア州立大学

**2E-03** クロマチン免疫沈降によるタバコ動原体 DNA 配列の単離

○長岐 清孝<sup>1)</sup>、柏原 亓成<sup>1)</sup>、鈴木 剛<sup>2)</sup>、村田 稔<sup>1)</sup>

- 1) 岡山大学 資源生物科学研究所
- 2) 大阪教育大学 教養学科 自然研究講座

9:45 **2D-04** 日本人のジェノタイプデータを用いたホモ接合体の検出によるハプロタイプ決定と頻度推定

○山口 由美<sup>1)</sup>、高橋 篤<sup>1)</sup>、角田 達彦<sup>1)</sup>、細野 直哉<sup>1)</sup>、久保 充明<sup>1)</sup>、中村 祐輔<sup>1,2)</sup>、鎌谷 直之<sup>1)</sup>

- 1) 理化学研究所 ゲノム医科学研究センター
- 2) 東京大学 医科学研究所 ヒトゲノム解析センター

**2E-04** ヘテロクロマチン構造維持とヒストンアセチル化複合体の関与

○畑中 彬良<sup>1)</sup>、畑下 昌範<sup>2)</sup>、内田 博之<sup>1)</sup>、沖 昌也<sup>1,3)</sup>

- 1) 福井大学大学院 工学研究科 生物応用化学専攻
- 2) 若狭湾エネルギー研究センター
- 3) 福井大学 生命科学複合研究教育センター



**A 会場**

(講義棟1階、講義室(1))

[複製・組換え②]

**B 会場**

(講義棟2階、講義室(3))

[分子進化・分子系統①]

**C 会場**

(講義棟2階、講義室(5))

[遺伝子発現(シグナル伝達)②]

10:00	<p><b>2A-05</b> 大腸菌の RecF 相同組換え経路の再構成</p> <p>○半田 直史<sup>1)</sup>、森松 克実<sup>2)</sup>、Lovett Susan<sup>3)</sup>、Kowalczykowski Stephen<sup>2)</sup></p> <p>1) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカルゲノム専攻 2) Department of Microbiology, University of California, Davis 3) Department of Biology, Brandeis University</p>	<p><b>2B-05</b> 脊椎動物の内耳有毛細胞における Myosin VI の発現分布</p> <p>○吉川 欣亮<sup>1)</sup>、松原 創<sup>1)</sup>、米川 博通<sup>2)</sup>、望月 英志<sup>1)</sup></p> <p>1) 東京農業大学大学院 生物産業学研究科 2) 東京都臨床医学総合研究所 疾患モデル開発センター</p>	<p><b>2C-05</b> 枯草菌 <i>sigA</i> 転写制御株の孢子形成誘発機構の解析</p> <p>○須永 愛、板本 英恵、山下 湖、朝井 計</p> <p>埼玉大学大学院 理工学研究科</p>
10:15	<p><b>2A-06</b> RecA のローディングにおける RecF タンパク質の役割</p> <p>○坂井 亜紀子<sup>1,2)</sup>、コックス マイケル<sup>2)</sup></p> <p>1) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 2) イスコンシン大学</p>	<p><b>2B-06</b> Makorin1 遺伝子の mRNA 量制御機構についての予測</p> <p>○金子 聡子<sup>1)</sup>、高畑 尚之<sup>2)</sup>、颯田 葉子<sup>3)</sup></p> <p>1) お茶の水女子大学 生命情報学教育研究センター 2) 総合研究大学院大学 3) 総合研究大学院大学 先端科学研究科</p>	<p><b>2C-06</b> 枯草菌における増殖・孢子形成能力が低下した rRNA オペロン多重欠失変異株から単離された遺伝子重複を伴うサブレッサー解析</p> <p>○増田 健太、田上 和美、和田 哲也、鈴木 祥太、野口 祐佳、星屋 将太、河村 富士夫</p> <p>立教大学 理学部 生命理学科</p>
10:30	<p><b>2A-07</b> 出芽酵母の相同組換えに関する PCSS 蛋白質複合体の機能解析</p> <p>○俵元 麻貴、笹沼 博之、篠原 美紀、篠原 彰</p> <p>大阪大学 蛋白質研究所</p>	<p><b>2B-07</b> 超行列法における不完全なデータが系統推定に与える影響 -イタチ科とアライグマ科を例に-</p> <p>○佐藤 淳<sup>1)</sup>、ヴォルサ ミチズロウ<sup>2)</sup></p> <p>1) 福山大学 生命工学部 生物工学科 2) ポーランド科学アカデミー 博物館 兼 動物学研究所</p>	<p><b>2C-07</b> 枯草菌における新奇 ppGpp 合成酵素 YwaC の生体内機能とリボソームの二量体化機構の解析</p> <p>○田上 和美<sup>1)</sup>、増田 健太<sup>1)</sup>、前橋 真利江<sup>1)</sup>、廣畑 吉崇<sup>1)</sup>、吉田 昌樹<sup>1)</sup>、黒岩 晴子<sup>1)</sup>、黒岩 常祥<sup>1)</sup>、七宮 英晃<sup>2)</sup>、戸澤 譲<sup>2)</sup>、劉 生浩<sup>3)</sup>、影山 泰<sup>3)</sup>、荒勝俊<sup>3)</sup>、尾崎 克也<sup>3)</sup>、河村 富士夫<sup>1)</sup></p> <p>1) 立教大学 理学部 生命理学科 2) 愛媛大学 無細胞生命科学工学研究センター 3) 花王株式会社 生物科学研究所</p>
10:45	<p><b>2A-08</b> 分裂酵母 F-box ヘリカーゼによる相同組換え制御の分子メカニズムの解析</p> <p>○黒川 裕美子<sup>1)</sup>、筒井 康博<sup>1)</sup>、岩崎 博史<sup>2)</sup>、山尾 文明<sup>1)</sup></p> <p>1) 国立遺伝学研究所 分子遺伝研究系 変異遺伝研究部門 2) 東京工業大学大学院 生命理工学研究科 分子生命科学専攻</p>	<p><b>2B-08</b> ユーラシア産野生ハツカネズミの系統地理学的解析</p> <p>○臼田 大輝<sup>1)</sup>、高田 豊行<sup>2)</sup>、森脇 和郎<sup>4)</sup>、吉川 欣亮<sup>3)</sup>、城石 俊彦<sup>2)</sup>、鈴木 仁<sup>1)</sup></p> <p>1) 北海道大学大学院 環境科学院 生物圏科学専攻 生態遺伝学 2) 国立遺伝学研究所 哺乳動物遺伝研究室 3) 東京農業大学 生物産業学部 生物生産学科 4) 筑波研究所 バイオリソースセンター</p>	<p><b>2C-08</b> SELEX による古細菌由来 FFRP が認識する DNA 配列の決定</p> <p>○横山 勝志<sup>1)</sup>、野上 英起<sup>1)</sup>、樺澤 満美子<sup>1)</sup>、海老原 園美<sup>1)</sup>、下和佐 亜衣<sup>1)</sup>、橋本 けい子<sup>1)</sup>、川嶋 剛<sup>2)</sup>、石島 早苗<sup>1)</sup>、鈴木 理<sup>1)</sup></p> <p>1) 産業技術総合研究所 2) 横浜薬科大学 健康薬学科 分子生物学研究室</p>

## D 会場

(講義棟3階、講義室(8))

[集団・進化①]

## E 会場

(講義棟3階、講義室(10))

[細胞構造機能 / 染色体の構造 / 減数分裂]

10:00 **2D-05** コスタリカ・サンタロサ国立公園に生息する野生オマキザル群の遺伝的多様性の解明に向けて

○佐藤 亮子<sup>1)</sup>、CAMPOS Fernando<sup>2)</sup>、太田 博樹<sup>1)</sup>、JACK Katharine<sup>3)</sup>、FEDIGAN Linda<sup>2)</sup>、河村 正二<sup>1)</sup>

- 1) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 先端生命科学専攻
- 2) Department of Anthropology University of Calgary
- 3) Department of Anthropology Tulane University

**2E-05** 出芽酵母 HMR- 左側領域における単一細胞での遺伝メカニズム解析

○眞野 恭伸<sup>1)</sup>、内田 博之<sup>1)</sup>、沖 昌也<sup>1,2)</sup>

- 1) 福井大学大学院 工学研究科 生物応用化学専攻
- 2) 生命科学複合研究教育センター

10:15 **2D-06** ミシシッピ川流域及びフロリダ半島に生息するヌマスギ集団の遺伝的構造

○田中 絢子<sup>1)</sup>、大谷 雅人<sup>2)</sup>、楠見 淳子<sup>3)</sup>、猪股 伸幸<sup>4)</sup>、津村 義彦<sup>3)</sup>、館田 英典<sup>4)</sup>

- 1) 九州大学大学院 システム生命科学府 システム生命科学専攻
- 2) 独立行政法人 森林総合研究所
- 3) JT 生命誌研究館
- 4) 九州大学 理学研究院 生物科学部門

**2E-06** *Hieracium* におけるアポミクシス関連遺伝子座の FISH 解析

○鈴木 剛<sup>1)</sup>、伊藤 花菜江<sup>1)</sup>、岡田 崇<sup>2)</sup>、Johnson Susan<sup>2)</sup>、Koltunow Anna<sup>2)</sup>、向井 康比己<sup>1)</sup>

- 1) 大阪教育大学 教養学科
- 2) オーストラリア CSIRO Plant Industry

10:30 **2D-07** 先駆樹種イヌザンショウ (*Zanthoxylum schinifolium*) と近縁種カラスザンショウ (*Z. ailanthoides*) の遺伝的構造の比較

○為国 愛<sup>1)</sup>、吉田 貴徳<sup>1)</sup>、館田 英典<sup>2)</sup>

- 1) 九州大学大学院 システム生命科学府 システム生命科学専攻
- 2) 九州大学大学院 理学研究院 生物科学部門

**2E-07** 二粒系コムギとタルホコムギの雑種で発現する生育不良の解析

○宅見 薫雄、秦野 仁志、中野 裕樹、水野 信之

神戸大学 農学研究科 生命機能科学専攻

10:45 **2D-08** イネ亜種間交雑において生殖的隔離を引き起こす相互作用遺伝子座 *DOPPELGANGER1* と *2* の単離・解析

○水多 陽子<sup>1,2)</sup>、春島 嘉章<sup>1)</sup>、倉田 のり<sup>1,2)</sup>

- 1) 国立遺伝学研究所 植物遺伝研究室
- 2) 総合研究大学院大学 生命科学研究科 遺伝学専攻

**2E-08** マカロニコムギとタルホコムギの交雑に由来する3倍体 F<sub>1</sub> 雑種の自殖種子稔性

○松岡 由浩

福井県立大学 生物資源学部

**A会場**

(講義棟1階、講義室(1))

[複製・組換え②]

**B会場**

(講義棟2階、講義室(3))

[分子進化・分子系統①]

**C会場**

(講義棟2階、講義室(5))

[遺伝子発現(シグナル伝達)②]

11:00	<p><b>2A-09</b> アナナスショウジョウバエ雄の組換えホットスポット領域の構造</p> <p>○佐藤 玄、松田 宗男 杏林大学 医学部 生物</p>	<p><b>2B-09</b> マダラテントウ亜科の系統と食草利用の進化</p> <p>○加藤 徹<sup>1)</sup>、小林 憲生<sup>2)</sup>、カホノ シ<sup>3)</sup>、片倉 晴雄<sup>1)</sup></p> <p>1) 北大 院理、2) 北大 博物館 3) インドネシア科学院</p>	<p><b>2C-09</b> Smu1 の温度感受性変異とスプライシング反応における機能</p> <p>○菅谷 公彦、石原 よし江、菅谷 恵子 放射線医学総合研究所 生体影響機構研究グループ</p>
11:15	<p><b>2A-10</b> アカパンカビのゲノム安定化に関わる2つの機構</p> <p>○若林 道香、西城 伸之、畠山 晋、井上 弘一、田中 秀逸 埼玉大学 理学部 生体制御学科 遺伝学研究室</p>	<p><b>2B-10</b> 小笠原産イチジク属固有種の起源</p> <p>○楠見 淳子、蘇 智慧 JT 生命誌研究館</p>	<p><b>2C-10</b> GASDERMIN B (GSDMB) の組織および癌特異的発現は、5' 上流に挿入されたレトロトランスポゾンにより制御される</p> <p>○田村 勝<sup>1)</sup>、小見山 博光<sup>1,2)</sup>、加藤 依子<sup>1)</sup>、城石 俊彦<sup>1)</sup></p> <p>1) 国立遺伝学研究所 哺乳動物遺伝 2) 順天堂大学 医学部</p>
11:30	<p><b>2A-11</b> アルキル化損傷の修復におけるアカパンカビ <i>pnk</i> 遺伝子の働き</p> <p>○橋本 輝、畠山 晋、井上 弘一、田中 秀逸 埼玉大学 理学部 生体制御学科 遺伝学研究室</p>	<p><b>2B-11</b> 複数の核タンパク遺伝子による昆虫類の目間の系統解析</p> <p>○石渡 啓介<sup>1)</sup>、佐々木 剛<sup>2)</sup>、宮田 隆<sup>2)</sup>、蘇 智慧<sup>1,2)</sup></p> <p>1) 大阪大学大学院 理学研究科 生物科学専攻 2) JT 生命誌研究館</p>	<p><b>2C-11</b> マイクロ RNA と転写因子の遺伝子制御ネットワークにおける役割の差異に関する比較ゲノム解析</p> <p>○岩間 久和<sup>1)</sup>、村尾 孝児<sup>2)</sup>、井町 仁美<sup>2)</sup>、石田 俊彦<sup>2)</sup></p> <p>1) 香川大学 総合生命科学研究センター 遺伝子研究部門 2) 香川大学 医学部 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科</p>
11:45		<p><b>2B-12</b> ミトコンドリア DNA によるトラフショウジョウバエ種亜群の分子系統学的研究</p> <p>○和多田 正義、三宅 仁 愛媛大学 理学部 生物学科</p>	<p><b>2C-12</b> イントロン長の集計によるスプライシング機構多様性の推定</p> <p>○嶋田 誠、原口 典子、前田 明 藤田保健衛生大学 総合医科学研究所 遺伝子発現機構学研究部門</p>

## D 会場

(講義棟3階、講義室<sup>(8)</sup>)

[集団・進化<sup>①</sup>]

## E 会場

(講義棟3階、講義室<sup>(10)</sup>)

[細胞構造機能 / 染色体の構造 / 減数分裂]

11:00 **2D-09** *Aegilops caudata* プラズモンをもつ *Ae. cylindrica* の作出とその特性  
○常脇 恒一郎<sup>1)</sup>、森 直樹<sup>2)</sup>、宅見 薫雄<sup>2)</sup>  
1) 自宅  
2) 神戸大学農学研究科植物遺伝学研究室

**2E-09** 分裂酵母の新しい接合型の創出—フェロモン遺伝子への網羅的突然変異導入  
○清家 泰介<sup>1)</sup>、山岸 由和<sup>2)</sup>、中村 太郎<sup>1)</sup>、飯尾 英夫<sup>2)</sup>、下田 親<sup>1)</sup>  
1) 大阪市立大学大学院 理学研究科 生物地球系専攻  
2) 大阪市立大学大学院 理学研究科 物質分子系専攻

11:15 **2D-10** 遺伝子重複と新規 *Ty1/copia* 様レトロトランスポソンの挿入によるダイズの適応進化  
○金澤 章、Liu Baohui、Kong Fanjiang、荒瀬 幸子、阿部 純  
北海道大学大学院 農学研究院

**2E-10** 貯精精子の利用に必要な *wasted* 遺伝子の同定  
○大迫 隆史、高橋 文子、山本 雅敏  
京都工芸繊維大学 ショウジョウバエ遺伝資源センター

11:30 **2D-11** 地域適応に関するイネ出穂性モデル遺伝子の表現型多様化に関する遺伝解析  
○上床 修弘、池田 祐士、HAGIWARA WILHELM EIGO、佐野 芳雄  
北海道大学大学院 農学研究院

**2E-11** ノハラカオジロショウジョウバエの休眠・非休眠システムを用いた休眠誘導機構の遺伝学的解析  
○山田 博万、山本 雅敏  
京都工芸繊維大学 ショウジョウバエ遺伝資源センター

11:45 **2D-12** 日本に生息するクワコの遺伝的多型  
○行弘 研司<sup>1)</sup>、河本 夏雄<sup>1)</sup>、小瀬川 英一<sup>1)</sup>、廣川 昌彦<sup>1)</sup>、立松 謙一郎<sup>1)</sup>、木内 信<sup>1)</sup>、秋月 岳<sup>1)</sup>、伊藤 雅信<sup>2)</sup>、伴野 豊<sup>3)</sup>  
1) 農業生物資源研究所昆虫ゲノム研究・情報解析ユニット  
2) 京都工芸繊維大学  
3) 九大農院

**A 会場**

(講義棟1階、講義室(1))

[トランスポゾン・ゲノム再編]

**B 会場**

(講義棟2階、講義室(3))

[分子進化・分子系統②]

**C 会場**

(講義棟2階、講義室(5))

[ゲノム構造・機能解析]

- 9:00 **3A-01** シロイヌナズナにおいて転移するレトロトランスポゾンの制御機構  
 ○塚原 小百合<sup>1,2)</sup>、小林 啓恵<sup>2)</sup>、河邊 昭<sup>2)</sup>、三浦 明日香<sup>2)</sup>、角谷 徹仁<sup>1,2)</sup>  
 1) 総合研究大学院大学 生命科学研究所 遺伝学専攻  
 2) 国立遺伝学研究所
- 3B-01** ヒトインフルエンザ A 型ウイルス (H3N2 亜型) ヘマグルチニンには正の自然選択が連続的に働いている  
 ○鈴木 善幸  
 国立遺伝学研究所 生命情報・DDBJ 研究センター
- 3C-01** 枯草菌のジアシルグリセロールキナーゼはリポテイコ酸合成に欠損があれば必須ではない  
 ○神谷 雄介、橋本 理尋、松岡 聡、原 弘志、松本 幸次  
 埼玉大学大学院 理工学研究科 生命科学専攻 分子生物学コース
- 
- 9:15 **3A-02** アラビドプシス属における爆発的レトロトランスポジションの再現  
 ○小林 啓恵、河邊 昭、塚原 小百合、三浦 明日香、角谷 徹仁  
 国立遺伝学研究所
- 3B-02** 季節性インフルエンザの流行強度と集団増殖および正の選択の関係ー遺伝学と感染症疫学の接点を探る  
 ○矢原 耕史、柳川 堯  
 久留米大学 医学研究科
- 3C-02** 枯草菌における糖脂質機能の解明  
 ○千葉 美奈子、谷村 遊、松岡 聡、朝井 計、原 弘志、松本 幸次  
 埼玉大学大学院 理工学研究科 生命科学専攻
- 
- 9:30 **3A-03** シロイヌナズナの転移するトランスポゾン *VANDAL21* のエピジェネティックな制御  
 ○付 ゆう<sup>1,2)</sup>、小林 啓恵<sup>2)</sup>、角谷 徹仁<sup>2)</sup>  
 1) 総合研究大学院大学 生命科学研究所 遺伝学専攻  
 2) 国立遺伝学研究所
- 3B-03** 全インフルエンザ A ウイルスを対象にした新規情報学的手法による俯瞰的可視化とそこから知識発見  
 ○岩崎 裕貴、阿部 貴志、伊藤 正恵、池村 淑道  
 長浜バイオ大学 バイオサイエンス研究科
- 3C-03** 単細胞性紅藻 *Cyanidioschyzon merolae* がもつ分子系統学的に異なるタンパク質輸送因子 SecA の機能  
 ○小山 陽亮、滝元 宏治、太田 にじ、松本 幸次、原 弘志  
 埼玉大学 理工学研究科
- 
- 9:45 **3A-04** シロイヌナズナの *ddm1* 変異体自殖系統における DNA メチル化制御の解析  
 ○佐々木 卓<sup>1,2)</sup>、小林 啓恵<sup>1)</sup>、佐瀬 英俊<sup>1,2)</sup>、角谷 徹仁<sup>1,2)</sup>  
 1) 国立遺伝学研究所 育種遺伝研究部門  
 2) 総合研究大学院大学 遺伝学専攻
- 3B-04** 霊長類の転移性反復配列複合体 (RCRO) の起源  
 ○古賀 章彦、平井 啓久  
 京都大学 霊長類研究所
- 3C-04** 単細胞性紅藻 *Cyanidium caldarium* RK-1 株のミトコンドリアゲノムの解析  
 ○西永 有利、太田 にじ  
 埼玉大学大学院 理工学研究科 生命科学系専攻 分子生物学コース

## D 会場

(講義棟3階、講義室(8))

[集団・進化②]

## E 会場

(講義棟3階、講義室(10))

[遺伝子機能]

- 9:00 **3D-01** 高次脳機能関連遺伝子群の分子進化学的解析：代謝調節型グルタミン酸受容体遺伝子群における自然選択の検出  
○柴田 弘紀<sup>1)</sup>、森田 彩<sup>1)</sup>、後藤 大輝<sup>2)</sup>、間野 修平<sup>3)</sup>、竹中 修<sup>4)</sup>、服巻 保幸<sup>1)</sup>  
1)九州大学 生体防御医学研究所  
2)ペンシルバニア州立大学 比較ゲノムインフォマティクスセンター  
3)名古屋市立大学大学院 システム自然科学研究科  
4)京都大学 豊長類研究所
- 9:15 **3D-02** なぜ致死的病原性は維持されるのか？ 利他的感染防御としての死の進化条件の集団実験と数理モデル・シミュレーションによる検討  
○福世 真樹<sup>1)</sup>、佐々木 顕<sup>2)</sup>、小林 一三<sup>1)</sup>  
1)東京大学大学院 新領域創成科学研究科 生命科学系 メディカルゲノム専攻  
2)総合研究大学院大学 葉山高等研究センター
- 9:30 **3D-03** 自然選択の影響をうけた DNA 配列を生成する Coalescent シミュレーションプログラムの開発  
○手島 康介、印南 秀樹  
総合研究大学院大学 葉山高等研究センター
- 9:45 **3D-04** 構造を持つ Coalescent モデルの有効集団サイズ  
○能登原 盛弘  
名古屋市立大学大学院 システム自然科学研究科
- 3E-01** 生物発光リアルタイム測定システムー大規模測定と高感度測定のための次世代システムの開発ー  
○小内 清<sup>1,2)</sup>、大久保 充宏<sup>2,3)</sup>、岡本 和久<sup>1,2)</sup>、長谷川 寛<sup>2,4)</sup>、太田 武司<sup>2,3)</sup>、伊藤 英樹<sup>2,3)</sup>、川角 康之<sup>2,3)</sup>、中村 隆司<sup>2,3)</sup>、森下 めぐみ<sup>1,2)</sup>、西本 治美<sup>1,2)</sup>、松尾 拓哉<sup>1,2)</sup>、上池 伸徳<sup>1,2)</sup>、白木 央<sup>2,3)</sup>、石浦 正寛<sup>1,2)</sup>  
1)名古屋大学 遺伝子実験施設  
2)科学技術振興機構 先端計測分析技術・機器開発事業 石浦チーム  
3)中立電機株式会社 FA 事業部  
4)浜松ホトニクス株式会社 電子管事業部
- 3E-02** 単細胞緑藻クラミドモナスの概日リズム変異株 *roc97* の原因遺伝子の同定  
○松尾 拓哉、飯田 高広、石浦 正寛  
名古屋大学 遺伝子実験施設 植物ゲノム解析分野
- 3E-03** クラミドモナスの時計遺伝子 *ROC75* の解析  
○飯田 高広<sup>1,2)</sup>、松尾 拓哉<sup>1,2)</sup>、石浦 正寛<sup>1,2)</sup>  
1)名古屋大学 遺伝子実験施設  
2)名古屋大学大学院 理学研究科
- 3E-04** 単細胞性緑藻クラミドモナスにおける時計遺伝子生物発光レポーター株の作製  
○丹羽 由実<sup>1)</sup>、松尾 拓哉<sup>1,2)</sup>、立川 誠<sup>1,2)</sup>、小内 清<sup>2)</sup>、石浦 正寛<sup>1,2)</sup>  
1)名古屋大学 理学部 理学研究科 生命理学専攻  
2)名古屋大学 遺伝子実験施設

**A会場**

(講義棟1階、講義室(1))

[トランスポゾン・ゲノム再編]

**B会場**

(講義棟2階、講義室(3))

[分子進化・分子系統②]

**C会場**

(講義棟2階、講義室(5))

[ゲノム構造・機能解析]

10:00	<p><b>3A-05</b> シロイヌナズナの jumonjiドメイン蛋白質が転写されている遺伝子のDNAメチル化を防ぐ</p> <p>稲垣 宗一、三浦 明日香、中村 みゆき、小林 啓恵、佐瀬 英俊、○角谷 徹仁</p> <p>国立遺伝学研究所</p>	<p><b>3B-05</b> LTRレトロトランスポゾンの転移時期の推定に対する遺伝子変換の影響</p> <p>○木島 隆之、印南 秀樹</p> <p>総合研究大学院大学 先端科学研究科 生命共生体進化学専攻</p>	<p><b>3C-05</b> 線虫の筋肉遺伝子構造と発現様式</p> <p>○香川 弘昭</p> <p>岡山大学院・自然科学・バイオサイエンス</p>
10:15	<p><b>3A-06</b> イネ転移因子の爆発的増殖をもたらす遺伝子発現制御への影響</p> <p>○内藤 健<sup>1,2)</sup>、Zhang Feng<sup>1)</sup>、築山 拓司<sup>2)</sup>、斎藤 大樹<sup>2)</sup>、Hancock C. Nathan<sup>1)</sup>、奥本 裕<sup>2)</sup>、Wessler Susan R.<sup>1)</sup>、谷坂 隆俊<sup>2)</sup></p> <p>1) ジョージア大学 植物科学研究科 2) 京都大学 農学部 農学研究科</p>	<p><b>3B-06</b> テナガザルにおける L-M オプシン遺伝子座位間 gene conversion と浄化淘汰により形成されるエクソンとイントロンの対照的な多型性パターン</p> <p>○河村 正二<sup>1)</sup>、樋渡 智秀<sup>1)</sup>、Suryobroto Bambang<sup>4)</sup>、Perwitasari-Farajallah Dyah<sup>5)</sup>、Malaivijitnond Suchinda<sup>6)</sup>、Siriaronrat Boripat<sup>7)</sup>、太田 博樹<sup>1)</sup>、後藤 俊二<sup>3)</sup>、三上 章允<sup>2)</sup></p> <p>1) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 先端生命科学専攻、2) 中部学院大学 人間福祉学部、3) 京都大学 霊長類研究所 人類進化モデル研究センター、4) Department of Biology, Faculty of Mathematics and Natural Sciences, Bogor Agricultural University, Bogor, Indonesia、5) Department of Biology, Faculty of Science, Bogor Agricultural University, Bogor, Indonesia、6) Primate Research Unit, Department of Biology, Faculty of Science, Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand、7) Research and Conservation Division : Zoological Park Organization (ZPO), Bangkok, Thailand</p>	<p><b>3C-06</b> <i>Phodopus campbelli</i> の黒眼黄色被毛突然変異体における tyrosinase-related protein 1 遺伝子塩基配列</p> <p>○和田 あづみ<sup>1)</sup>、大川 清<sup>1)</sup>、都築 政起<sup>2)</sup></p> <p>1) 東京慈恵会医科大学 医学部 総合医科学研究センター 実験動物研究施設 2) 広島大学大学院 生物圏科学</p>
10:30	<p><b>3A-07</b> キイロショウジョウバエ P 因子リードスルー転写産物に起こる RNA 編集と特異的な RNA スプライシング</p> <p>○福井 智一<sup>1)</sup>、森下 俊<sup>2)</sup>、伊藤 雅信<sup>2,3)</sup></p> <p>1) 京都工芸繊維大学 ベンチャーラボラトリー 2) 京都工芸繊維大学 工学科学研究科 応用生物 3) 京都工芸繊維大学 昆虫バイオメディカル研究センター</p>	<p><b>3B-07</b> 全ヒト遺伝子のオルソログと重複遺伝子ファミリーデータの構築による系統特異的な遺伝子進化パターンの解析</p> <p>○坂手 龍一<sup>1)</sup>、松矢 明宏<sup>1,2)</sup>、五條堀 孝<sup>1,3)</sup>、今西 規<sup>1)</sup></p> <p>1) 産業技術総合研究所 バイオメディカル情報研究センター 2) 日立製作所 3) 国立遺伝学研究所 生命情報・DDBJ 研究センター</p>	<p><b>3C-07</b> マウス亜種間コンソミック系統を用いたエネルギー代謝多様性の遺伝解析</p> <p>○高田 豊行<sup>1,2)</sup>、三田 晃彦<sup>1)</sup>、森脇 和郎<sup>3)</sup>、米川 博通<sup>4)</sup>、城石 俊彦<sup>1,2)</sup></p> <p>1) 国立遺伝学研究所 系統生物研究センター 2) 情報システム研究機構 新領域融合研究センター 3) 理研 BRC 4) 東京都臨床医学総合研究所 疾患モデル開発センター</p>
10:45	<p><b>3A-08</b> アナナスショウジョウバエの、転移因子 <i>tom</i> によって生ずる複眼形態異常突然変異 <i>Om</i> を特異的に抑制する遺伝子</p> <p>○吉田 磨仁<sup>1)</sup>、アコスタ モニカ<sup>2)</sup></p> <p>1) 北海道大学大学院 地球環境科学研究院 生態遺伝学分野 2) Department of Optometry and Vision Science, University of Auckland, Auckland, New Zealand</p>	<p><b>3B-08</b> VCX/XCY 遺伝子ファミリーの起源と種特異的な遺伝子重複</p> <p>○岩瀬 峰代<sup>1)</sup>、金 慧琳<sup>1)</sup>、颯田 葉子<sup>1)</sup>、高畑 尚之<sup>2)</sup></p> <p>1) 総合研究大学院大学 生命体科学専攻 2) 総合研究大学院大学</p>	<p><b>3C-08</b> 遺伝解析に基づくヤギカシマヤ毛生産に関与する QTL の検出</p> <p>○関 優太<sup>1)</sup>、石川 大樹<sup>2)</sup>、鏡味 優介<sup>2)</sup>、相良 嘉彦<sup>2)</sup>、藤田 優<sup>3)</sup>、名倉 義夫<sup>3)</sup>、小谷 麻衣<sup>3)</sup>、野村 こう<sup>4)</sup>、菅野 雅子<sup>4)</sup>、天野 卓<sup>4)</sup>、横濱 道成<sup>1,2)</sup>、吉川 欣亮<sup>1,2)</sup></p> <p>1) 東京農業大学 生物産業界研究科 動物資源管理学研究室 2) 東京農業大学 生物産業界 生物生産学科 3) 独立行政法人 家畜改良センター 4) 東京農業大学 農学部 畜産学科</p>

**D 会場**  
(講義棟3階、講義室(8))  
[集団・進化②]

**E 会場**  
(講義棟3階、講義室(10))  
[遺伝子機能]

10:00 **3D-05** 近交係数を推定するベイジアンク  
ラストリングアプローチ  
○小野木 章雄、森田 光夫  
社団法人 家畜改良事業団 家畜改良技術研究所

**3E-05** ヒメツリガネゴケの *CCA1/LHY*  
ホモログ遺伝子、*PpCCA1a* と  
*PpCCA1b* の解析  
岡田 龍<sup>1)</sup>、サントーシュ サツバイ<sup>1)</sup>、  
近藤 紗代<sup>1)</sup>、山口 暢俊<sup>2)</sup>、  
○青木 撰之<sup>1)</sup>  
1) 名古屋大学大学院 情報科学研究科  
2) 名古屋大学大学院 情報科学研究科  
3) 名古屋大学 情報文化学部

10:15 **3D-06** 祖先偏りグラフ：移住と遺伝子変  
換の偏り  
○間野 修平  
名古屋市立大学大学院 システム自然科学研  
究科

**3E-06** ヒメツリガネゴケの *PRR*  
(*Pseudo-Response Regulator*) ホモ  
ログ遺伝子の解析  
○サツバイ サントーシュ<sup>1)</sup>、岡田 龍<sup>1)</sup>、  
手塚 裕紀<sup>1)</sup>、笹野 佑介<sup>2)</sup>、伊藤 智則<sup>1)</sup>、  
青木 撰之<sup>1)</sup>  
1) 名古屋大学大学院 情報科学研究科  
2) 名古屋大学大学院 情報科学研究科  
3) 名古屋大学 情報文化学部

10:30 **3D-07** 交叉と遺伝子変換による組換え率  
の推定法  
○角 友之<sup>1)</sup>、ARGUELLO J. ROMAN<sup>2)</sup>、  
LONG MANYUAN<sup>2)</sup>、WANG WEN<sup>3)</sup>、  
印南 秀樹<sup>1)</sup>  
1) 総合研究大学院大学 葉山高等研究センター  
2) University of Chicago  
3) Kunming Institute of Zoology, Chinese  
Academy of Sciences

**3E-07** パンコムギ EMS 突然変異系統を  
用いた穂の形態変異に関わる Q 遺伝子の  
解析  
○川浦 香奈子、高久 真実、今井 雄大、  
萩原 保成  
横浜市立大学 木原生物学研究所

10:45 **3D-08** 遺伝子変換の検出方法の比較  
○萬歳 明香、印南 秀樹  
総合研究大学院大学 葉山高等研究センター

**3E-08** 倍数性コムギにおける Q 遺伝子の  
分子的解析  
安諸 茉莉子、川浦 香奈子、高久 真実、  
○萩原 保成  
横浜市立大学 木原生物学研究所



**A 会場**

(講義棟1階、講義室(1))

[トランスポゾン・ゲノム再編]

**B 会場**

(講義棟2階、講義室(3))

[分子進化・分子系統②]

**C 会場**

(講義棟2階、講義室(5))

[ゲノム構造・機能解析]

11:00	<p><b>3A-09</b> レトロトランスポゾンによるヒトゲノム構造多型の網羅的検出系(“REP-typing”)の開発 ○相澤 康則、石黒 光一 東京工業大学 バイオ研究基盤支援総合センター</p>	<p><b>3B-09</b> ショウジョウバエゲノム配列データを用いた heterotachy の検証 ○小川 佳孝、田村 浩一郎 首都大学東京 理工学研究科 生命科学専攻</p>	<p><b>3C-09</b> 非小細胞肺癌から樹立したヒト細胞株 KU-T2 の分子遺伝学的解析 ○高岡 栄二<sup>1,2)</sup>、田口 尚弘<sup>1)</sup>、富永 明<sup>1)</sup> 1) 高知大学大学院 総合人間自然科学 黒潮圏総合科学専攻 2) 高知学園短期大学 医療衛生学科</p>
11:15	<p><b>3A-10</b> 異常な転移に由来する大規模な配列変化が新しいレトロトランスポゾンを作る ○小島 健司、岡田 典弘 東京工業大学大学院 生命理工学研究科</p>	<p><b>3B-10</b> 自然突然変異による分子進化の隘路：なぜ野生型より優れた糖輸送体が作成できたか？ ○笠原 道弘<sup>1)</sup>、下河原 浩介<sup>2)</sup>、笠原 敏子<sup>1)</sup> 1) 帝京大学 医学部 物理学教室 2) 帝京大学 医学部 化学教室</p>	<p><b>3C-10</b> ヒト X 染色体上のゲノム構造と MAGE 遺伝子ファミリーの進化 ○桂 有加子、颯田 葉子 総合研究大学院大学 先端科学研究科 生命共生体進化化学専攻</p>
11:30	<p><b>3A-11</b> 「動く遺伝子」としての制限修飾系：ゲノム比較解析による制限修飾系の関与するゲノム再編の探索 ○古田 芳一、阿部 健太郎、小林 一三 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカルゲノム専攻</p>	<p><b>3B-11</b> 迅速な相同遺伝子の検索を可能にするゲノムビューアーの特色 ○小林 悟志<sup>1)</sup>、薦田 多恵子<sup>3)</sup>、荒木 次郎<sup>4)</sup>、谷口 丈晃<sup>4)</sup>、伊藤 武彦<sup>4)</sup>、隈 啓一<sup>3)</sup>、藤山 秋佐夫<sup>2,3)</sup> 1) 情報・システム機構 新領域融合センター 2) 国立遺伝学研究所 生物遺伝資源情報総合センター 3) 国立情報学研究所 情報学プリンシプル研究系 4) 三菱総合研究所 先端科学研究センター</p>	<p><b>3C-11</b> 演題取り消し</p>
11:45	<p><b>3A-12</b> 「属」を越える水平伝播実験系の確立：巨大プラスミドの伝達 ○金子 真也<sup>1)</sup>、板谷 光泰<sup>2)</sup> 1) 東京工業大学大学院 生命理工学研究科 分子生命科学専攻 2) 慶応義塾大学 先端生命科学研究所</p>	<p><b>3B-12</b> 立襟鞭毛虫 <i>Monosiga ovata</i> ゲノム計画：I. ゲノム概観 ○隈 啓一<sup>1)</sup>、岩部 直之<sup>2)</sup>、加藤 和貴<sup>3)</sup>、藤 博幸<sup>4)</sup>、廣瀬 希<sup>2)</sup>、佐々木 剛<sup>2)</sup>、菅 裕<sup>5)</sup>、宮田 隆<sup>6)</sup>、鈴木 稜<sup>7)</sup>、笠原 雅弘<sup>7)</sup>、新井 理<sup>8)</sup>、大石 加寿子<sup>8)</sup>、鹿見島 浩<sup>8)</sup>、豊田 敦<sup>8)</sup>、黒木 陽子<sup>9)</sup>、菅野 純夫<sup>7)</sup>、森下 真一<sup>7)</sup>、小原 雄治<sup>8)</sup>、藤山 秋佐夫<sup>1,8,9)</sup> 1) 国立情報学研究所、2) 京大・院理、3) 九大・デジタルメディスンイニシアティブ、4) 九大・生体防御医学研究所、5) パーゼル大学、6) JT 生命誌研究館、7) 東大・院新領域、8) 国立遺伝学研究所、9) 理研 GSC</p>	<p><b>3C-12</b> レタス根腐病抵抗性遺伝子の連鎖解析 ○有賀 大輔<sup>1)</sup>、土屋 宣明<sup>2)</sup>、橋本 昌征<sup>3)</sup>、松本 悦夫<sup>4)</sup>、林田 信明<sup>5)</sup> 1) 信州大学大学院 総合工学系研究科 2) 長野県農業試験場 3) 信州大学 国際若手研究者育成拠点 4) 長野県野菜花き試験場 5) 信州大学 繊維学部 応用生物学系</p>

**D 会場**  
(講義棟3階、講義室(8))  
[集団・進化②]

**E 会場**  
(講義棟3階、講義室(10))  
[遺伝子機能]

11:00 **3D-09** bicoid 遺伝子コピー数の増加に  
応答する修復機構の遺伝的多様性  
○田中 健太郎<sup>1)</sup>、高橋 文<sup>1,2)</sup>、伊藤 雅信<sup>3)</sup>、  
高野 敏行<sup>1,2,4,5)</sup>  
1) 総合研究大学院大学 遺伝学専攻  
2) 国立遺伝学研究所 集団遺伝研究部門  
3) 京都工芸繊維大学 応用生物学専攻  
4) 総合研究大学院大学 先端科学研究科  
5) 東京大学大学院 理学系研究科 生物科学専攻

**3E-09** 枯草菌膜脂質組成変化に伴うスト  
レス応答 ECF シグマ因子 SigM の活性化  
○橋本 理尋<sup>1)</sup>、谷村 遊<sup>2)</sup>、神谷 雄介<sup>2)</sup>、  
石川 一輝<sup>2)</sup>、松岡 聡<sup>1)</sup>、原 弘志<sup>1)</sup>、  
朝井 計<sup>1)</sup>、定家 義人<sup>1)</sup>、松本 幸次<sup>1)</sup>  
1) 埼玉大学大学院 理工学研究科 理工学専攻  
生命科学系コース  
2) 埼玉大学大学院 理工学研究科 生命科学専  
攻 分子生物学コース  
3) 埼玉大学大学院 理工学研究科 生命科学部  
門 分子生物学領域

11:15 **3D-10** アカショウジョウバエにおける低温  
適応の遺伝機構  
○磯部 琴葉、田村 浩一郎  
首都大学東京大学院 理工学研究科 生命科学  
専攻

**3E-10** 細菌のアシルトランスフェラーゼ  
に関する分子遺伝学的研究  
○原 義令<sup>1)</sup>、松岡 聡<sup>1)</sup>、原 弘志<sup>1)</sup>、  
山下 純<sup>2)</sup>、松本 幸次<sup>1)</sup>  
1) 埼玉大学大学院 理工学研究科  
2) 帝京大学薬学部

11:30 **3D-11** 核膜孔複合タンパク遺伝子  
(Nup160) はショウジョウバエの雑種雌  
不妊および雑種致死を引き起こす  
○澤村 京一<sup>1)</sup>、前原 一慶<sup>2)</sup>、  
増野 昭太郎<sup>2)</sup>  
1) 筑波大学大学院 生命環境科学研究科  
2) 筑波大学 生物学類

**3E-11** サルモネラのストレス特異的シグ  
マ因子 RpoS で誘導されるトキシンの標  
的蛋白質の同定  
○江本 宗玄、和田 健男、杓掛 和弘  
岡山大学大学院 自然科学研究科

11:45 **3D-12** キイロショウジョウバエ集団内にお  
ける胸部三叉の色素沈着パターンの多型  
と非ランダム交配  
○高橋 文<sup>1,2)</sup>、高野 敏行<sup>1,2,3,4)</sup>  
1) 国立遺伝学研究所 集団遺伝研究部門  
2) 総合研究大学院大学 遺伝学専攻  
3) 総合研究大学院大学 生命体科学専攻  
4) 東京大学 理学系研究科 生物科学専攻

**3E-12** 細胞分裂センサータンパク質  
YycG の活性化メカニズム  
○福島 達也<sup>1)</sup>、降旗 伊佐子<sup>1)</sup>、所 秀幸<sup>1)</sup>、  
Szurmant Hendrik<sup>2)</sup>、Hoch James A.<sup>2)</sup>  
1) 信州大学 ヒト環境科学研究支援センター  
遺伝子実験部門  
2) スクリプス研究所

**A会場**

(講義棟1階、講義室(1))

[トランスポゾン・ゲノム再編]

**B会場**

(講義棟2階、講義室(3))

[分子進化・分子系統②]

**C会場**

(講義棟2階、講義室(5))

[ゲノム構造・機能解析]

12:00

**3B-13 立襟鞭毛虫 *Monosiga ovata* ゲノム計画: II. 動物初期進化における遺伝子の多様化**

○岩部 直之<sup>1)</sup>、隈 啓一<sup>2)</sup>、加藤 和貴<sup>3)</sup>、藤 博幸<sup>4)</sup>、廣瀬 希<sup>1)</sup>、佐々木 剛<sup>1)</sup>、村田 友輔<sup>1)</sup>、菅 裕<sup>5)</sup>、宮田 隆<sup>6)</sup>、鈴木 穰<sup>7)</sup>、笠原 雅弘<sup>7)</sup>、新井 理<sup>8)</sup>、大石 加寿子<sup>8)</sup>、鹿見島 浩<sup>8)</sup>、豊田 敦<sup>8)</sup>、黒木 陽子<sup>9)</sup>、菅野 純夫<sup>7)</sup>、森下 真一<sup>7)</sup>、小原 雄治<sup>8)</sup>、藤山 秋佐夫<sup>2,8,9)</sup>

1) 京大・院理、2) 国立情報学研究所、3) 九大・デジタルメディスンイニシアティブ、4) 九大・生体防御医学研究所、5) パーゼル大学、6) JT 生命誌研究館、7) 東大・院新領域、8) 国立遺伝学研究所、9) 理研 GSC

**3C-13 ハクサイ根こぶ病抵抗性遺伝子座の QTL 解析と DNA マーカーへの応用**

○上野 広樹<sup>1)</sup>、有賀 大輔<sup>2)</sup>、坂本 浩司<sup>3)</sup>、松本 悦夫<sup>4)</sup>、林田 信明<sup>5)</sup>

1) 信州大学大学院 工学系研究科  
2) 信州大学大学院総合工学系研究科  
3) タキイ種苗株式会社  
4) 長野県野菜花き試験場  
5) 信州大学繊維学部応用生物学系